

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		ひかりもせうし				公表日	2026年 3月 31日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		・適切である。粗大運動できるスペース、少人数で活動出来る部屋も確保しています。	・基準に基づいた利用定員に対して十分なスペースが確保されており適切と思われます。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6			・基準に適した職員配置がされております。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	・建物はバリアフリー化されていないが、利用児には現施設設備で対応できている。	・バリアフリーではありませんが、現在利用しているお子様は支障なく過ごせています。今後必要時には、お子様の特性や障がいに応じた改善を図っていきます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		・清掃、消毒、整理整頓をまめに行っています。施設設備の管理をし、安全に利用できるよう配慮しています。 ・子どもたちが来る前に職員で清掃をしている為、清潔に保つことができています。	・毎日清掃消毒を行っており、利用されるお子様が心地よく過ごせるよう環境を整えてお待ちしております。 ・広い活動ホールがありますが、体を動かして遊ぶことが好きなお子様や静かな遊びを好むお子様など様々なお子様の活動に合わせてスペースを分け、安心して活動できるよう空間の工夫をしています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		・活動に合わせてホールや別室を利用しています。 ・学習に集中できない際等、状況に応じて相談室を使用することもある。	・個別で使用できる部屋や場所がありますので、お子様の状態に合わせて使ってもらっています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		・事前の打ち合わせ、事後の振り返りを全職員で行って次につなげています。 ・長期休み終了時等、節目のタイミングで全員で振り返りを行っている。 ・業務改善委員会を開き、日々の業務での聞き取りから改善案を話し合っている。	・全職員で業務の振り返りや見直しを行い、働きやすい環境となるように話し合いをしています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・保護者様からの評価表を参考に、業務内容を改善しています。	・評価表でいただいたご意見を日々の業務や支援の改善につなげています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・打ち合わせや会議を通じて意見を拾い上げ、改善につなげている。 ・会議や個人面談の際に、職員の意見を伝える場がある。	・職員一人一人の意見を把握できるよう、会議の他定期面談を実施しています。また、個人評価シートやストレスチェックなどを行い職員の状況把握を行い業務の見直しや改善につなげています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6			・外部評価の実施には至っておりませんが、今後外部評価を行った際には、そこで出た意見を基により良い業務展開ができるよう改善に努めていきます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		・日々研修などで研鑽を積んでいます。必要に応じて医療機関から助言をいただきながら支援しています。 ・外部研修に関して、積極的に全員が参加している。	・社内研修の他、外部研修に誰でも参加出来るようになってきました。学びの場を設け、日々の療育に活かせるよう自己研鑽に励んでまいります。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6			・5領域に沿った活動内容の設定を行い、公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		・保護者やお子さんから聞き取ったアセスメントを元に、課題やニーズをくみ上げて計画案を作成している。 ・主に保護者からの聞き取りにて、アセスメントを行っている。併せて、ニーズや課題についての聞き取りも行っている。	・利用時のお子様の様子や保護者様からの情報を基にアセスメントをし、伺ったニーズや課題を客観的に分析評価をし計画案を作成しています。	

適切な支援の提供	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス担当者会議で職員間で意見を出し合い、お子さんに合わせた支援計画を作成している。</li> <li>・会議後修正した個別支援計画は全員が目を通し、共通理解を図ることができていると思われる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス担当者会議を開催し、職員間で意見を出し合い、お子様の状態を共通理解認識をした上で個別支援計画を作成しています。</li> </ul>
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援計画は原案を基にサービス担当者会議を行い職員間で検討、修正を行っている。</li> <li>・レク会議や日々の療育の中で、計画にあった活動を提供している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援計画は原案の段階から職員間で共有され、日々の療育では支援内容に沿った関わりをしています。</li> </ul>
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6			<ul style="list-style-type: none"> <li>・検査結果などフォーマルアセスメントの情報、他、全事業所共通のツールを活用しお子様の状況を把握しています。</li> <li>・業務終了後、支援記録を作成し、お子様の様子に変化がないかなど振り返りを行っています。</li> </ul>
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイドラインに沿って各項目の設定を行っています。また、それぞれの項目に沿った具体的な支援内容を設定し、どの職員も統一した対応ができるようになっています。</li> </ul>
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・レクの立案は全員が行っています。毎月のレク会議や朝の打ち合わせで共通認識しチーム一丸となって取り組んでいます。</li> <li>・各職員に分担し、それぞれが割り当てられた日の活動を立案している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プログラムの立案はチームで行っています。それぞれの職員の得意や強みを活かし、お子様の成長の一助となるような活動提供ができるよう内容を工夫しています。</li> </ul>
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・似たレクが続かないよう配慮しているが、ねらいや目標の取得に向けて、定期的に繰り返し行うレクもある。</li> <li>・各職員が毎度工夫したレクを提供することができている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的を持って繰り返し行う活動もありますが、お子様が楽しんで参加する中で色々な力を伸ばしていけるよう、内容を工夫して設定しています。</li> </ul>
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・集団活動の中に個々の目標に沿った計画案を取り入れて支援していますが、個別の支援では、時間や職員の配置を調整し行っています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お子様の状態に応じて個別の支援の設定や集団活動を組み合わせ計画を作成しています。</li> </ul>
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6			<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎朝打ち合わせを行い、活動内容や支援についての情報共有を行い、連携して支援を行っています。</li> </ul>
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・当時から、翌日の朝の打ち合わせで反省、振り返り、次につなげています。</li> <li>・次の日の朝に活動の反省をしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その日の送迎後や翌日の朝の打ち合わせの際に、支援や活動の振り返りを行い、気付いた点はもちろん改善点があれば、職員間で話し合いをし修正しています。</li> </ul>
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・なるべくその日のうちに記録ができるように工夫している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々支援記録を作成しています。その中でお子様の変化などがあれば支援内容の検討を行い、日々の療育に活かしています。</li> </ul>
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・6ヶ月毎に行っている。必要に応じて期間を短くして見直すケースもある。</li> <li>・基本的に、半年に一回のペースで計画更新を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お子様の状態に合わせて適切な見直しができています。</li> </ul>
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6			<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活の充実の為の活動として身体作りの他SSTなどで他者との関わり方を学ぶ内容や、行事を通じて地域交流の機会を設けるなどガイドラインに沿った支援を提供しています。</li> <li>・自立支援は主に中学生以上を対象として行っていますが、小学生の内からリーダー役などを設定し主体的に取り組めるような関わりを行っています。</li> </ul>

適切な支援の提供	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		・中学生の自立支援レクで、自分たちで話し合っ て計画、立案、実施を行い、自己決定力、実行する力を養っています。指導員は必要に応じて手助け、助言をしています。 ・特に中学生は、「自立支援」の中でそれぞれが意見を出し選択する機会を多く設けている。	・レクへの参加有無の確認や、活動の中で「自分で選び、決める」場面の設定を行い、自己選択・決定の経験が積めるよう意識して取り組んでいます。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			・管理者や児発管が参加する他、お子様を担当する職員も出席することがありました。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		・保健師を通じて連携体制を整えている。	・各地域の保健師を中心とし、必要に応じて各関係機関とも連携し支援体制を整えています。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		・地元の小学校とは、情報交流をまめにしています。 ・小学校と密に連絡を取り、適宜確認や要請を行っている。	・今後も情報共有や調整がしやすいよう連携を図っていきます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6		・就学前に関係機関が集まり、情報を共有している。 ・就学時に、小学校との情報共有を行っている。	・就学前に関係機関が集まり情報を共有する機会があり、お子様の様子を相互理解する場になっております。就学後も必要な支援が続けて受けられるよう、今後も関係機関との連携を行っていきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6		・今のところ対象者がいない為していないと思われる。	・今後このようなケースができた際には、情報共有をする場を設け、新たな場へスムーズに移行できるようお手伝いいたします。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	2		・スーパーバイズや研修を受ける機会はありませんでしたが、関わり方や支援への助言をいただくことができ、日々の療育に活用しています。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	2		・地域のイベントなどに参加し、地域の他のお子様と交流し一緒に活動する機会を設けてきました。 普段学童の利用やひかりがない日に地域のお友達と交流する機会があるお子様が多くの為、頻回に上記の設定はしていませんが、今後も地域交流を続けて行く予定です。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6			・深川市自立支援協議会が開催する会議や研修会に定期的に参加しています。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6			・送迎時や面談時に情報交流している。
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	1			・ペアレントトレーニングの実施はありませんでしたが、ご家庭での困り事や相談内容から関わり方の助言をさせていただくことができました。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			・契約時に資料を見ていただきながらご説明しております。 ・事業所玄関ホールにいつでもご覧いただけるよう掲示しております。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			・お子様からの意向の聞き取りと、保護者様との面談の際に、主訴やニーズ、今後の意向を伺わせていただき、個別支援計画に反映しています。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6			・計画書を提示しながらご説明させていただいています。各項目について丁寧に説明を行い、同意をいただいています。

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6			<ul style="list-style-type: none"> <li>相談を承った際には、その場で助言をしたり、職員間で支援の検討を行いその内容をご家族と情報共有するなど適切に対応しています。</li> <li>ご家庭での困り事や悩みなど、些細なことでもかまいませんので、何かあれば今後もお気軽にご相談いただけますと幸いです。</li> </ul>
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的に親子レクなどを設定し、保護者同士で交流できる場を設けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>父母の会や保護者会はありませんが、保護者や兄弟同士の交流ができる場として親子レクを開催しておりますので、沢山のご参加をお待ちしています。</li> </ul>
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			<ul style="list-style-type: none"> <li>幸いにして苦情をいただく事案はありませんでしたが、苦情窓口を設置し対応する体制がございますので、今後苦情があった際には適切に対応をしていきたいと思います。</li> <li>普段お気づきの点や気になることがございましたら、いつでもお声がけください。</li> </ul>
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>毎月発行のひかりだよりやインスタグラムを通じて、日々の活動や行事の予定などを周知している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ひかりだよりでは行事予定の他、必要な持ち物のチェックリスト、大切なお知らせ等を記載しておりますので、ご確認ください。</li> </ul>
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			<ul style="list-style-type: none"> <li>写真動画の使用については許可をいただいていないお子様が掲載されないようダブルチェックを行っています。</li> <li>情報提供の際には、必要最低限の情報のみとしています。</li> </ul>
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			<ul style="list-style-type: none"> <li>口頭での説明の他、図やイラストなどを用いて分かり易い工夫をしながらお伝えしています。また、日頃の活動の様子については連絡帳の他、LINEにて写真を添えてお伝えする事もありました。</li> </ul>
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>ハロウィンパレードや商工会主催の遊歩市出店などで地域住民と協力している。</li> <li>ハロウィンなどの行事で、地域の方々にも協力していただいている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各事業所行事の他、地域のイベントにも参加し地域交流を行ってきました。「ひかりさんだね」と地域の皆様にも温かく受け入れられるようになったと実感しています。今後も地域との繋がりを意識した活動計画を行っていききたいと思います。</li> </ul>
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>年間行事予定に、避難訓練をあらかじめ組み込んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>訓練の実施はもちろん、各種マニュアルも策定しています。いつでもご覧いただけますのでお声がけください。</li> </ul>
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的にお子さんを交えた複数の避難訓練や職員の消火訓練、防犯訓練などを行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的に避難訓練を実施しています。お隣に消防署もご近いですので、緊急避難先とするなど連携を図っています。</li> </ul>
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6			<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者様に利用調査票をご記入いただき、状況の確認をしています。</li> </ul>
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>一覧にして掲示しいつでも確認できるようにしている他、非常用持ち出しリュックにも一覧を入れ、災害時でも対応できるようにしている。</li> <li>医師の指示書は無いが、母からの聞き取りから提供する食物をチェックしている。不明な場合は都度保護者に確認して対応している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者様からアレルギーの有無を聞き取り、提供する食べ物を確認しています。検査はしていないけれど心配があるお子様の場合は都度保護者様に確認して対応しています。</li> </ul>
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			<ul style="list-style-type: none"> <li>お子様が安全安心して利用できるよう、支援環境の点検や必要に応じて見直しを行っております。</li> </ul>
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			<ul style="list-style-type: none"> <li>お子様の状況に応じて安心して過ごせる環境を整えられるよう、日頃からご家庭でのお子様の様子を伺うなど連携に努めています。</li> </ul>
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>共有し、再発防止に向けて話し合っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヒヤリハットは大事な気付きと捉え積極的に職員間で共有しています。また、会議でも原因や再発防止に向けて検討をし、日々の関わりに活かしています。</li> </ul>

非常時等の対応	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		・毎年研修を行っている	・年間研修計画にも組み込み定期的に虐待研修を行っています。また、虐待を疑われる事案については職員間だけでなく関係機関にも共有し、包括的にサポートできる体制を整えています。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		・虐待防止に関する研修で、何が良くて何が虐待に当たるのか定期的に全職員で学び、気を付けている。	・これまで身体拘束が必要な事案はありませんでしたが、もし必要ではないかと思われる状況が発生した場合には、身体拘束虐待防止委員会にて検討する運びとなっています。決定された場合にはお子様や保護者様に十分な説明をし了承をいただいた上での対応になります。また実施の際には個別支援計画に記載されることとなります。